

食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に向けた展開方向

三本柱 ①農地の確保と適正利用の強化による農業生産の展開

②需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷軽減の両立

③我が国最大の食料供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定的な確保

主な環境変化等

食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の展開方向（生産現場の行動変容）

世界人口増加・国内人口減少

地球温暖化による大規模な気候変動

輸入食料・生産資材価格の高騰・高止まり

環境負荷軽減を意識した政策への転換

消費者の食生活・ニーズの変化

SDGsの意識の高まり

①農地の確保と適正利用の強化による農業生産の展開



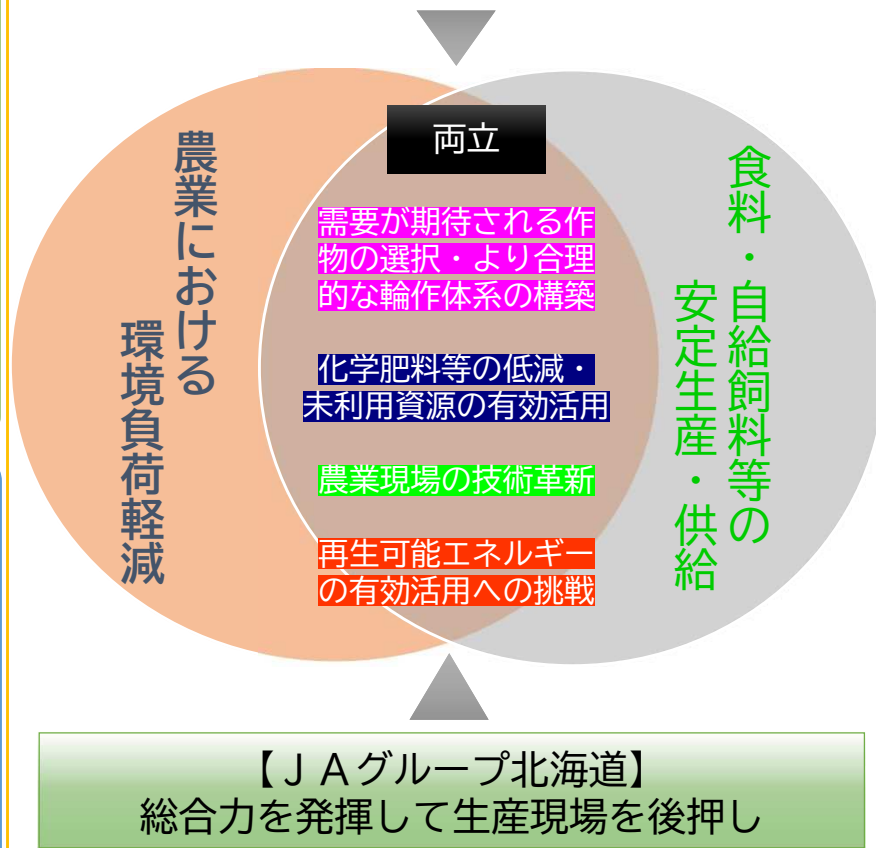
- 農地の適正利用の強化により農地を減少させない(林野・雑種地も含め地域資源を守る)
- 農畜産物の安定供給、農業所得の確保

③食料供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定確保



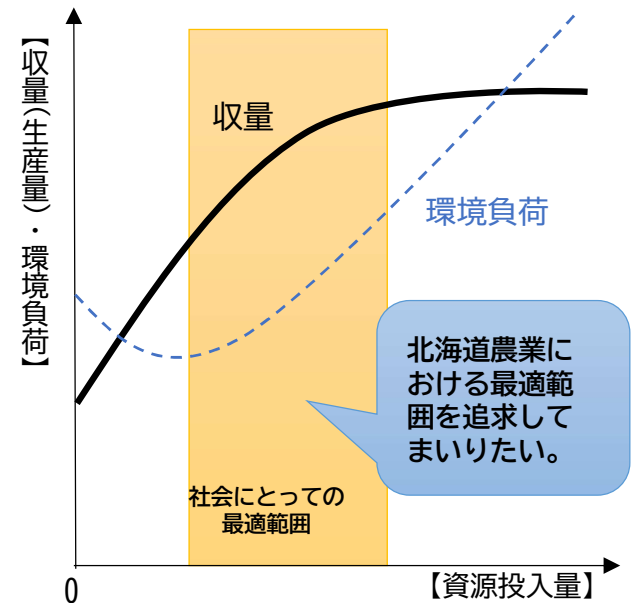
- 国産農畜産物に対する価値の共有による消費者・事業者の行動変容により価格転嫁を実現

②食料・自給飼料等の安定生産・安定供給と農業における環境負荷軽減の両立



両立の基本となる考え方

●最大収量 → 最適収量 の追求。



【国・北海道】生産現場における①～③の行動変容に対する力強い政策支援

②需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・安定供給と農業における環境負荷軽減の両立

両立に向けた生産現場の行動変容（例）

需要が期待される作物の選択・より合理的な輪作体系の構築

- ≫ 需要が期待される食料・飼料の生産振興と道内外へ安定供給することで輸入依存度の低減を図る。
- ≫ 地域の判断により新たな栽培体系を再構築。



大豆



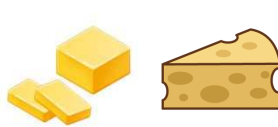
米粉



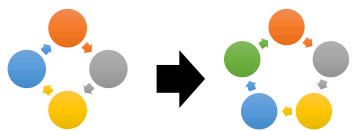
子実用とうもろこし



デントコーン



乳製品



新たな作物導入等による
輪作年限の延長

化学肥料等の低減・未利用資源の有効活用

- ≫ みどりの食料システム戦略、ゼロカーボン北海道と連動しながら化学肥料・化学農薬を低減。
- ≫ 道認証が追加されたYes!clean農産物の推進。
- ≫ 家畜糞尿の資源化、付加価値の創出。
- ≫ 堆肥の広域利用の実現。
- ≫ 緑肥の有効活用。



堆肥



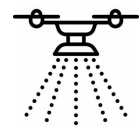
液肥



緑肥

農業分野の技術革新

- ≫ 農業分野の技術革新の推進と新品種導入による作業の最適化(生産性向上・コスト削減)の推進。



スマート農業



育種

再生可能エネルギーの有効活用への挑戦

- ≫ バイオガス発電、バイオエタノール、リサイクル、J-クレジット等の推進。



バイオガス発電



バイオエタノール

【JAグループ北海道】総合力を発揮して生産現場を後押し



営農指導



販売強化



労働力確保



リサイクル



機械・施設整備

【国・北海道】生産現場の行動変容に対する力強い政策支援

- ≫ 食料安全保障強化政策大綱をふまえ現行制度の検証を通じて生産現場を力強く支援。

- ・ 需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・安定供給と農業における環境負荷軽減の両立を実現するための政策への転換。
- ・ 経営所得安定対策・多面的機能に着目した直接支払制度の拡充・強化。
- ・ 需給逼迫に備えて、米・小麦・飼料穀物及び大豆等の国産備蓄体制を拡充（北海道を備蓄基地）。
- ・ 道産農畜産物の新規需要開拓、予期せぬ需給緩和に対応するための輸出体制の確立。